

第5回CHUBU懇話会に参加して

兒島 孝明

毎年開催するCHUBU懇話会は、中部支部における産学官交流の活発化や教育活動の一環として、さらに中部支部全体の活動の活性化を目的として2012年度より毎年開催されております。今回は2016年12月9日(金)、味の素ゼネラルフーズ(AGF)鈴鹿株式会社様にご協力いただき、三重県鈴鹿市のAGF鈴鹿工場にて第5回CHUBU懇話会が開催されました。参加者は、近鉄白子駅に集合し、貸し切りバスに揺られながら市街地を抜けること15分、同工場に到着しました。

まず本会開催に先立ち、参加者がAGF公式キャラクターのビーン太くんを囲んで記念写真を撮りました(図1)。この際、撮影をお願いした同工場関係者のご指導(！？)のもと、参加者一同が、「ブレンディー！」と発したその瞬間に写真を撮っていただきました。そのおかげでしょうか、一同が満面の笑みをたたえた素敵な写真になりました。

講演会では、以下の3名の先生にご講演いただきました。

- 鈴木徹氏(岐阜大学応用生物科学部)「内共生細菌の進化と糖質利用戦略—なぜ、オリゴ糖は健康に良い

か？—」

- ・黒澤真一郎氏(味の素ゼネラルフーズ株式会社)「コーヒー豆マンノオリゴ糖の製造技術・健康機能及び商品への活用」
- ・岩崎雄吾氏(名古屋大学大学院生命農学研究科)「機能性リン脂質の酵素合成」

いずれの先生も密度の高い内容を具体的な事例を交えながら、非常にわかりやすくご説明いただきました。質疑応答では学生を交えて活発な議論が交わされました。

その後、同工場の各種コーヒー製品の生産ラインを見学しました。参加者は、見学専用の白衣と帽子を着用し、数グループに分かれてそれぞれ隊列を組んだうえ、普段ではなかなか見ることができない作業現場を見学して回りました。見慣れた商品が次々に袋詰めされていく様子を皆一様に興奮気味に見つめていました。

AGF鈴鹿株式会社の関係者の皆様とビーン太くんにバスの窓から手を振ってお別れした後、一部の参加者は近鉄白子駅近くの居酒屋に場所を移し、懇親会に参加しました。新鮮な魚の料理と美味しいお酒に学生達の華やかさも加わり、会は終始大盛り上がりでした。

今回のCHUBU懇話会では、49名もの多くの方々に参加いただきました。お忙しいところご参加いただきました皆様、また、貴重な機会をご提供いただきましたAGF鈴鹿株式会社の関係者の皆様にはこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。



図1. ビーン太くんを囲んで記念写真

著者紹介 名古屋大学大学院生命農学研究科(講師) E-mail: kojimat@nuagr1.agr.nagoya-u.ac.jp